

三条市地域公共交通網形成計画 実施状況【令和5年度】

I 日常生活に溶け込む既存の公共交通の磨き上げ		現状値	令和5年度実施状況	今後の取組
デマンド交通の利便性の向上				
No.1	デマンド交通ひめさゆりの全日運行 【中間目標値:80,000人、最終目標値:83,000人】	デマンド交通利用者数 72,698人（平成28年度）	利用者数：56,920人 （うちAIデマンド利用者12,112人）	前年度からは約3,000人の減少となっているため、下記No.2のほか更なる取組を通じて利用促進を図る。
No.2	多用者に対する負担軽減策の検討	—	負担軽減策の最善解を複数乗車の推進と捉え、複数乗車を推進していくための複数乗車を推進していくための予約受付システム（アプリ）を導入したAIオンデマンドのーとさんじょうを令和5年10月に市街地エリアに導入した。	AIオンデマンド交通の利用料金の一部改定（LINE予約の利用料金引き下げや学割料金の導入）を検討していく。
No.3	生活交通路線の見直しの検討	路線バス利用者数 70,510人（H27.10～H28.9）	東三条駅から須頃地区までの路線バス（大学・専門学校前）を縮小した結果、路線バス利用者数は減少したが、循環バス利用者は増加した。 利用者数 35,972人（R4.10～R5.9）	前年度からは約3割減となっているため、今後も事業の効率化と利用促進を図る。
No.4	地域主体のコミュニティバス拡大の検討 【中間目標値：1地区、最終目標値：2地区】	1地区でコミュニティバスを運行	新たに導入したい自治会からの問合せなどはなかった。	過去に照会のあった自治会も、運転員の確保と燃料代等の運行費の捻出が困難との理由で実現に至らなかったことがあった。当協議会として、今後も自治体から問合せ等があった場合は、地域のコミュニティバス導入支援に努めていく。
No.5	デマンド交通利用促進に向けた出張講座の実施	—	41か所で実施	令和5年10月に開始したAIオンデマンドのーとさんじょうの周知のため、大幅に出張講座の実施箇所を増加した。今後も引き続き事務局が説明会に赴き、制度の周知に努める。
高校生のバス等利便性の向上				
No.6	循環バスぐるっとさんの一部コースの見直し等の検討	循環バス利用者数 31,708人（平成28年度）	令和5年3月の県央基幹病院開院に伴い、バスの路線見直し及び増便を行い、令和5年度の利用者数は前年度から約7,500人増加した。 利用者数：37,654人	令和5年度は、市立大学生の増加、新型コロナウイルス感染症の5類移行、県央基幹病院の開院等により、更なる利用者の増加が見込まれるため、必要に応じて運行時刻の変更や増便を検討する。
No.7	高校生通学ライナーバスの利用促進 【中間目標値:6,050人、最終目標値:6,050人】	高校生通学ライナーバス利用者数 6,062人（平成28年度）	市内全高校生及び周辺の大崎学園及び下田中学校卒業生にチラシを配布した。 利用者数：4,774人	更なる利用促進を図るため、通学でバスを利用する機会の多い市内高校の在学学生にチラシを配布するなど周知に努める。
No.8	バス待合環境の整備	—	令和5年6月に地域公共交通の結節点である東三条駅前のバス待合所を整備し、バスの利用環境を維持・改善することができた。	更なる利用促進を図るため、他の待合環境の整備を検討する。
No.9	鉄道の運行ダイヤ見直しの要望	—	JRへの要望	関係者の意見を踏まえ、引き続き要望を行う。

三条市地域公共交通網形成計画 実施状況【令和5年度】

資料No.2

【報告事項】

Ⅱ まちづくりのエリアを意識した外出で利用される公共交通の構築				
イベント等で利用しやすい交通体系の整備				
No.10	デマンド交通おでかけバス購入拡大 【中間目標値:350人、最終目標値:500人】	230人（平成28年度）	360人	令和5年度は、運転免許証返納時に73人に対しておでかけバスを無料交付した。今後も引き続き、更なる制度の周知を図る。
No.11	デマンド交通おでかけバスの協賛店の拡大 【中間目標値:85店舗、最終目標値:100店舗】	70店舗（平成28年度）	引き続き市内店舗に対し協力を募集したもの、店舗数の拡大にはつながらなかった。 55店舗	上記No.10のおでかけバスの利用が進み、それを受けて協賛店も拡大できるよう引き続き協賛店を募集する。
Ⅲ 観光における二次交通の充実				
観光拠点に向けた交通機能の充実				
No.12	八木ヶ鼻温泉線の見直しの検討	路線バス利用者数 70,510人（平成28年度）	上記No.3の今後の取組の実現に係る協議を行うとともに、令和5年10月より下田地区に燕三条・下田 Outdoor Liner（アウトドライナー）の実証運行を行った。	燕三条・下田 Outdoor Liner（アウトドライナー）の実証運行を継続的に行い、その利用状況から今後の見直しの検討を行う。
No.13	デマンド交通を活用した観光企画の検討 【中間目標値:56か所、最終目標値:60か所】	観光スポットに設置するデマンド交通 停留所数 52か所（平成29年度）	停留所は新たな施設の開業や地域住民の要望等により随時新設を行ったが、観光スポットに特化した停留所の設置や取組は行わなかった。	引き続き情報発信を行うとともに、イベントや他部署と連携して、観光客にも利用してもらえるよう周知に努める。
No.14	八十里越開通後の只見方面の運行の検討	—	下田地区の地域交通資源の有効活用に関する調査を実施した。	時機を見て只見町側との話し合いを行えるよう引き続き対応を検討する。